

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	総務部	課	自治防災課	係	消防係
担当者	窪田 哲士		直通	22-0119	内線	

①整理番号	章	2	節	2	具体的施策No. 施策名	②10 消防団員の確保	
②事業No.事業名	47.消防団員確保推進事業				事業実施 期 間	R3	～ R7
③新規・継続	継続	④事業区分	単独	国補助率	-	府補助率	-
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)							

⑥事業が目指すSDGsの目標

1 貧困をなくそう	2 気候変動に具体的な対策を	3 持続可能な開発目標を達成しよう	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と雇用革新を加速しよう
10 人や国が豊かになるように	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任はつかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナーシップで目標を達成しよう	

⑦事業の概要及び目的

団員の確保に向け、団員募集チラシの配布や自治会と連携した勧誘活動に努めます。また、入団しやすい消防団の環境づくりに努めます。

⑧活動指標（アウトプット指標）

取組			事業費(円)	(活動)指標値
R3	計画	団員募集に係る周知・啓発	0	1回
	実績	団員募集に係る周知・啓発(チラシ配布他)	0	1回
		達成度		100 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		20 %
R4	計画	団員募集に係る周知・啓発	0	1回
	実績	団員募集に係る周知・啓発(チラシ配布他)	0	1回
		達成度		100 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		40 %
R5	計画	団員募集に係る周知・啓発	0	1回
	実績	団員募集に係る周知・啓発(チラシ配布他)	0	1回
		達成度		100 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		60 %
R6	計画	団員募集に係る周知・啓発		1回
	実績			
		達成度		%
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%
R7	計画	団員募集に係る周知・啓発		1回
	実績			
		達成度		%
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%

活動指標（アウトプット指標）の具体的な考え方

総務省消防庁の消防団員募集チラシ及びポスターを各分団へ配布及び自治会と連携した勧誘活動の実績を活動指標とする。

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標			（成果）指標値
期間を通じた目標		消防団員の実員数	900名
R3	実績	消防団員の実員数	885名
R4	実績	消防団員の実員数	880名
R5	実績	消防団員の実員数	858名
R6	実績	消防団員の実員数	
R7	実績	消防団員の実員数	
令和7年度における達成度			%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	亀岡市消防団の条例定数である900名に対する実員数を成果指標とする。
-----------------------	------------------------------------

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	(R3)ホームページに消防団活動の記事を掲載し、広く広報に努めました。
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	総務部	課	自治防災課	係	消防係
担当者	窪田 哲士		直通	22-0119	内線	

①整理番号	章	2	節	2	具体的施策No. 施策名	②11. 消防団活動の充実	
②事業No. 事業名	48. 消防団活動強化事業				事業実施期間	R3	～ R7
③新規・継続	継続	④事業区分	単独	国補助率	-	府補助率	-
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)							

⑥事業が目指すSDGsの目標

1 貧困をなくそう	2 質の高いエネルギーを安全に	3 持続可能な人々の健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 持続可能なエネルギーをみんなに	8 持続可能な産業を	9 持続可能な消費と生産をつくらう
10 人や国々の富の差をなくそう	11 安全で持続可能なまちをつくらう	12 つくる責任とつかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海洋資源を豊かにしよう	15 陸の豊かさを保ちまよう	16 平和と公正な世界をみんなに	17 パートナーシップで世界を豊かにしよう	

⑦事業の概要及び目的

消防団活動に必要な資機材の整備、技術の向上など、消防力の向上を図ります。

⑧活動指標（アウトプット指標）

取組			事業費(円)	(活動)指標値
R3	計画	①資機材の配備 ②各種訓練	14,039,000	①資機材の配備 10件 ②各種訓練 5回
	実績	①資機材の配備(「消防団の装備の基準」等に適合した装備品等の配備) ②各種訓練の実施	12,007,440	①資機材の配備 6件 ②各種訓練 3回
		達成度		60 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		12 %
R4	計画	①資機材の配備 ②各種訓練	11,039,000	①資機材の配備 10件 ②各種訓練 5回
	実績	①資機材の配備(「消防団の装備の基準」等に適合した装備品等の配備) ②各種訓練の実施	9,127,800	①資機材の配備 4件 ②各種訓練 9回
		達成度		70 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		26 %
R5	計画	①資機材の配備 ②各種訓練	14,586,000	①資機材の配備 10件 ②各種訓練 5回
	実績	①資機材の配備(「消防団の装備の基準」等に適合した装備品等の配備) ②各種訓練の実施	12,685,200	①資機材の配備 3件 ②各種訓練 8回
		達成度		65 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		39 %
R6	計画	①資機材の配備 ②各種訓練		①資機材の配備 10件 ②各種訓練 5回
	実績			
		達成度		%
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%
R7	計画	①資機材の配備 ②各種訓練		①資機材の配備 10件 ②各種訓練 5回
	実績			
		達成度		%
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%

活動指標（アウトプット指標）の具体的な考え方

消防団の装備の基準に適合した資機材の配備実績及び各種訓練回数を活動指標とする。

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標			（成果）指標値
期間を通じた目標		各種訓練の参加者数	訓練参加者 2,000人
R3	実績	各種訓練の参加者数	各種訓練 687人
R4	実績	各種訓練の参加者数	各種訓練 1793人
R5	実績	各種訓練の参加者数	各種訓練 2014人
R6	実績	各種訓練の参加者数	
R7	実績	各種訓練の参加者数	
令和7年度における達成度			%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	消防団活動強化事業達成のため、各種訓練の参加者数を成果指標とする。
-----------------------	-----------------------------------

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	(R3) 配備計画に基づき、資機材の配備に努めました。また、新型コロナウイルス感染症対策を徹底した各種訓練を実施しました。
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	生涯学習部	課	生涯スポーツ課	係	生涯スポーツ係
担当者		山口 諒	直通	25-5055	内線	2273

①整理番号	章	4	節	3	具体的施策No. 施策名	㊦ 44. 市民のスポーツ機会の充実		
②事業No.事業名	203.幼児期・児童期から高齢者、障がい者のスポーツ機会創出事業				事業実施 期 間	R3 ~ R7		
③新規・継続	継続	④事業区分	単独		国補助率	-	府補助率	-
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)								

⑥事業が目指すSDGsの目標

1 貧困をなくそう	2 健康な生活に	3 持続可能な開発目標	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 持続可能なエネルギーを	8 働きがい、経済成長を	9 産業と技術革新の基盤をつくろう
10 人や国を分けず、ななくそう	11 安全な都市づくりを	12 つくる責任、つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海洋資源を保全しよう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナリシップで目標を達成しよう	

⑦事業の概要及び目的

幼児から高齢者まで、そして障がいのある市民に対し、生涯にわたってスポーツに親しめるスポーツライフの実現に向けた「ふれあいスポーツ・デー」「屋外スポーツデー」等を実施します。

⑧活動指標（アウトプット指標）

取組			事業費(円)	(活動)指標値
R3	計画	生涯スポーツ事業の開催	363,000	年13回
	実績	生涯スポーツ事業の開催	156,611	5回
		達成度		38.5 %
		達成度 (R3年度～R7年度累積)		7.7 %
R4	計画	生涯スポーツ事業の開催	1,229,000	年12回
	実績	生涯スポーツ事業の開催	1,183,280	年11回
		達成度		91.7 %
		達成度 (R3年度～R7年度累積)		26 %
R5	計画	生涯スポーツ事業の開催	309,000	年13回
	実績	生涯スポーツ事業の開催	283,191	年13回
		達成度		100 %
		達成度 (R3年度～R7年度累積)		46 %
R6	計画	生涯スポーツ事業の開催	951,000	年12回
	実績			
		達成度		%
		達成度 (R3年度～R7年度累積)		%
R7	計画	生涯スポーツ事業の開催		年13回
	実績			
		達成度		%
		達成度 (R3年度～R7年度累積)		%

活動指標（アウトプット指標）の具体的な考え方

毎年度開催することとしている生涯スポーツ事業「ふれあいスポーツ・デー」「屋外スポーツデー」の開催実績を、定量的な活動指標とする。

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標			（成果）指標値
期間を通じた目標		生涯スポーツ事業参加者数	1,000人以上
R3	実績	生涯スポーツ事業参加者数	197人
R4	実績	生涯スポーツ事業参加者数	598人
R5	実績	生涯スポーツ事業参加者数	865人
R6	実績		
R7	実績		
令和7年度における達成度			%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	当該事業及び取組の目的が達成されるためには、より多くの市民に生涯スポーツ事業「ふれあいスポーツ・デー」「屋外スポーツデー」へ参加していただくことが必要であると考え、参加者数を定量的な成果指標とする。
-----------------------	---

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	年度始めの計画どおり「屋外スポーツ・デー」を開催できたため、参加者数を約100名増やすことができた。
進行上の課題や問題点	(R3) コロナ禍の影響を受けやすい。
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	環境先進都市推進部	課	資源循環推進課	係	資源循環推進係
担当者		永本 恭平	直通	55-5305	内線	2433

①整理番号	章	5	節	2	具体的施策No. 施策名	①17.ごみ減量・資源化に係る仕組みづくりと啓発活動	
②事業No.事業名	240.分別収集計画の見直し及びその実施				事業実施 期 間	R3	～ R7
③新規・継続	継続	④事業区分	単独	国補助率	-	府補助率	-
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)							

⑥事業が目指すSDGsの目標

1 貧困をなくそう	2 健康な食生活に	3 持続可能な社会を	4 質の高い教育を	5 ジェンダー平等を	6 安全な水とトイレを	7 持続可能なエネルギーを	8 働きがいと経済成長を	9 豊かで持続可能な社会をつくらう
10 人や国を問わずに	11 安全で持続可能な都市をつくらう	12 つくる責任、つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海洋資源を豊かに保ち	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正な社会をすべての人に	17 パートnershipを	

⑦事業の概要及び目的

亀岡市ゼロエミッション計画(ごみ処理基本計画)に基づき進めてきた各資源化事業の成果に基づき、ごみの削減及び効率的な資源化を促進するため、家庭から排出されるごみの分別を拡大し、資源化率の向上に努めます。

⑧活動指標(アウトプット指標)

取組			事業費(円)	(活動)指標値
R3	計 画	・ごみの分別拡大システムの検討 ・亀岡市循環型社会推進審議会への諮問	0	審議会開催 1回
	実 績	・ごみの分別拡大システムの検討 ・亀岡市循環型社会推進審議会への諮問	0	審議会開催 1回
		達成度		100 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		20 %
R4	計 画	審議会の開催(ごみの分別拡大手続きの実施について)	0	審議会開催 2回
	実 績	審議会の開催(ごみの分別拡大手続きの実施について)	0	審議会開催 8回
		達成度		100 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		40 %
R5	計 画	審議会の開催(分別拡大後の影響調査についてなど)	0	審議会開催 1回
	実 績	審議会の開催(分別拡大後の影響調査についてなど)	0	審議会開催 1回
		達成度		100 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		60 %
R6	計 画	審議会の開催(分別拡大後の影響調査についてなど)	0	審議会開催 1回
	実 績			
		達成度		%
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%
R7	計 画	審議会の開催(分別拡大後の影響調査についてなど)	0	審議会開催 1回
	実 績			
		達成度		%
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%

活動指標(アウトプット指標)の具体的な考え方

令和4年度に実施するごみ処理基本計画の策定(改定)に合わせて、計画と整合の取れる分別拡大を令和5年度から実施する。また、令和5年度以降も激変するリサイクル情勢に合わせて情報収集及び実証事業を重ねてその時代に合った適正な分別区分を維持する。

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標			（成果）指標値
期間を通じた目標		燃やす、埋立てごみ処理量削減	令和7年度までに 燃やすごみ 10,573.59t以下 埋立てごみ 419.14t以下
R3	実績	燃やす、埋立てごみの処理量	燃やすごみ 18,737t 埋立てごみ 1,512t
R4	実績	燃やす、埋立てごみの処理量	燃やすごみ 18,271t 埋立てごみ 1,611t (埋立てごみについては、災害ごみが増)
R5	実績	燃やす、埋立てごみの処理量	燃やすごみ 17,808t 埋立てごみ 1,093t
R6	実績		
R7	実績		
令和7年度における達成度			%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	本市における最新のごみ排出状況を把握し、実情に沿った計画の策定を行い、その計画に基づき実施するごみの減量・資源化施策に沿った適正な分別区分の維持検討を行う。
-----------------------	--

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	まちづくり推進部	課	土木管理課	係	
担当者		足立 慎吾	直通	0771-25-5044	内線	3387

①整理番号	章	7	節	3	具体的施策No. 施策名	③21.適正な維持管理			
②事業No.事業名	335.河川維持事業				事業実施 期 間	R3 ~ R7			
③新規・継続	継続	④事業区分	単独		国補助率	-	府補助率	-	
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)									

⑥事業が目指すSDGsの目標

1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 持続可能な人社会を築く	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 持続可能なエネルギーを	8 持続可能な経済を創出しよう	9 産業と技術革新の基盤をつくろう
10 人や国を分けず、全ての人に富を分かちあう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任、つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海洋資源を豊かに保ちよう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートnership for the goal	

⑦事業の概要及び目的

近年頻発する局地的な集中豪雨による浸水被害の軽減に向け、本市が管理する河川について、支障となる樹木の伐採や堆積土砂の除去などの適正管理により流下能力の維持を図ります。

⑧活動指標（アウトプット指標）

取組			事業費(円)	(活動)指標値
R3	計画	河川維持管理作業委託の実施	52,012,400	12河川実施
	実績	河川維持管理作業委託の実施	52,012,400	12河川実施
		達成度		100 %
		達成度 (R3年度～R7年度累積)		20 %
R4	計画	河川維持管理作業委託の実施	43,000,000	6河川実施
	実績	河川維持管理作業委託の実施	26,368,100	7河川実施
		達成度		100 %
		達成度 (R3年度～R7年度累積)		40 %
R5	計画	河川維持管理作業委託の実施	42,340,000	2河川実施
	実績	河川維持管理作業委託の実施	30,342,400	2河川実施
		達成度		100 %
		達成度 (R3年度～R7年度累積)		60 %
R6	計画	河川維持管理作業委託の実施	17,500,000	6河川実施
	実績			
		達成度		%
		達成度 (R3年度～R7年度累積)		%
R7	計画	河川維持管理作業委託の実施	未定	
	実績			
		達成度		%
		達成度 (R3年度～R7年度累積)		%

活動指標（アウトプット指標）の具体的な考え方

河川パトロールや地元自治会等からの危険箇所の巡視・点検等に基づき実施した、河川維持管理作業委託の実績を活動指標とする。

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標			（成果）指標値
期間を通じた目標		市管理河川の氾濫による浸水被害件数（農地除く）	浸水被害件数 0件
R3	実績	災害の未然防止を図るため、適正管理による河川の流下断面確保の実施	浸水被害件数 0件
R4	実績	災害の未然防止を図るため、適正管理による河川の流下断面確保の実施	浸水被害件数 0件
R5	実績	災害の未然防止を図るため、適正管理による河川の流下断面確保の実施	浸水被害件数 0件
R6	実績		
R7	実績		
令和7年度における達成度			%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	災害の未然防止を図るため、適正管理を実施することで、浸水被害を防ぐ（農地除く）
-----------------------	---

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	まちづくり推進部	課	建築住宅課	係	空家対策係
担当者		剛谷 将伍	直通	0771(56)8520	内線	3397

①整理番号	章	I	節	3	具体的施策No. 施策名	④25.地域受入体制の強化	
②事業No.事業名	29. 移住促進特別区域を中心とした空き家利活用の推進及び移住希望者の案内強化事業				事業実施期間	R3	～ R7
③新規・継続	継続	④事業区分	単独	国補助率	-	府補助率	-
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)							

⑥事業が目指すSDGsの目標

1 貧困をなくそう	2 気候変動に具体的な対策を	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう
10 人や国が豊かになろう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任、つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海洋資源を豊かにしよう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナーシップで未来を創ろう	

⑦事業の概要及び目的

移住促進特別区域の自治会や京の田舎ぐらしナビゲーターと連携し、移住者や定住者を増やすため空き家利活用にかかる情報の共有や、移住希望者の積極的な案内を実施する。

⑧活動指標（アウトプット指標）

取組			事業費(円)	(活動)指標値
R3	計画	移住促進特別区域への移住希望者の案内数	56,444,785	案内数 10組
	実績	移住促進特別区域への移住希望者の案内数	39,041,654	案内数 8組
		達成度		80 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		16 %
R4	計画	移住促進特別区域への移住希望者の案内数	48,621,000	案内数 10組
	実績	移住促進特別区域への移住希望者の案内数	36,202,880	案内数 15組
		達成度		100 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		36 %
R5	計画	移住促進特別区域への移住希望者の案内数	52,913,000	案内数 10組
	実績	移住促進特別区域への移住希望者の案内数	44,125,550	案内数 10組
		達成度		100 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		56 %
R6	計画	移住促進特別区域への移住希望者の案内数	41,605,000	案内数 10組
	実績			
		達成度		%
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%
R7	計画	移住促進特別区域への移住希望者の案内数		案内数 10組
	実績			
		達成度		%
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%

活動指標(アウトプット指標)の具体的な考え方
本市への移住希望者から要望があれば、移住促進特別区域を中心とした市内の案内を実施しており、案内した件数及び内容はデータベースで管理しているため、案内件数を活動指標とする。

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標			（成果）指標値
期間を通じた目標		移住促進特別区域の移住者獲得組数	20組
R3	実績	移住促進特別区域の移住者獲得組数	12組
R4	実績	移住促進特別区域の移住者獲得組数	15組
R5	実績	移住促進特別区域の移住者獲得組数	10組
R6	実績		
R7	実績		
令和7年度における達成度			%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	当事業の目的は移住促進特別区域への移住者を増やしていくことであるため、移住促進特別区域の移住者獲得組数を成果指標とする。
-----------------------	--

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	(R3) 移住促進特別区域の自治会や京の田舎ぐらしナビゲーター等と連携することで、移住希望者に対する市内案内の充実を図った。
進行上の課題や問題点	(R3) 移住・定住担当職員が2名であるため、全ての要望に対してきめ細やかな対応ができない部分があった。
変更した理由	
その他	